

九州帝国大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520328>

出版情報：九州大学新聞. 131, 1935-06-20. 九大法文会
バージョン：
権利関係：



九洲帝國大學新報

定例刊行 毎月二十日 毎号五円 郵送料別
定例刊行 毎月二十日 毎号五円 郵送料別
定例刊行 毎月二十日 毎号五円 郵送料別

農會の問題

澤村康

一 農會の意義と目的
農會は農民の利益を代表し、農民の生活の向上を目的とする組織である。農民は社会の基礎を成す重要な存在であり、その生活の安定は国家の繁栄に直結する。農會は農民の声を代弁し、政府や社会に対してその要求を訴へ、農民の権利を擁護する役割を担っている。



The good neighbor - News and Observer, Raleigh

二 農會の組織と活動
農會の組織は、地域ごとに設立され、農民の生活に関する様々な問題に取り組んでいる。例えば、農産物の価格の安定、農民の教育、農民の健康の向上など、多岐にわたる活動を行っている。また、政府に対して政策提言を行うことも重要な役割の一つである。

三 農會の現状と課題
現在の農會は、農民の生活の向上に努めているが、依然として多くの課題に直面している。例えば、農産物の価格の下落、農民の所得の減少、農村の人口の減少など、深刻な問題が存在する。農會はこれらの課題を克服するため、さらなる努力が必要である。

四 農會の将来展望
農會の将来は、農民の生活の安定と農村の発展にあり、そのためには、政府や社会からの支援が不可欠である。農會は、農民の利益を代表し、その要求を訴へ、農民の権利を擁護する役割を担い、農村の発展に貢献する必要がある。

九大學生と結核

定期體格検査に胸部X線検査の必要を提唱す

毛利薫人

結核は、人類の健康を脅かす重大な疾患であり、その予防と治療は社会全体の責任である。九大學生は、健康な身体を維持し、社会に貢献するために、定期の體格検査を受ける必要がある。特に胸部X線検査は、結核の早期発見に有効であり、その実施を提唱する。

佛國市町村會
議員總選舉と
選舉法改正問題
野見山温

文學士 吉岡修一氏著
「ゲタルトの根本原理」
玉池純朗

大醫學博士 最良の良薬

各種良薬、健康食品、美容品など、数多く取り扱っています。品質が高く、効果的です。お気軽にご相談ください。

博多港 電話二二二

北崎汽船部
往復金銀
往復金銀

フルーツと喫茶

果物は常に健康を保つ！
フルーツと喫茶
フルーツと喫茶

未来の大臣縣知事を夢見て 押寄せた三千の受験生

十四日行政科を最初に 高文の幕開く

本年度高等試験は六月十四日、行政科の試験が最初に実施された。この日は、九州地方から約三千名の受験生が、東京市日比谷公園にある高等試験会場で集結した。この試験は、未来の大臣や縣知事を夢見る若者のための重要な一歩である。試験は午前九時から午後五時まで行われ、受験生たちは緊張した表情で試験に臨んだ。会場には、多くの受験生が詰め寄り、試験開始を待っている様子が見られた。

夏休プラン発表さる 學友會旅行部

學友會旅行部は、夏休みのプランを発表した。このプランは、学生たちが夏休みに楽しむための様々な旅行コースを提供している。コースには、国内旅行、海外旅行、自然体験、文化体験などがある。旅行部は、学生たちの安全と楽しさを最優先とし、高品質のサービスを提供することを約束している。また、旅行費用の軽減策も発表している。

博多灣 一周船遊び

博多灣一周船遊びは、博多灣の美しい風景を楽しむための人気イベントである。このイベントは、博多灣を一周する船旅を提供しており、乗客は船から博多灣の絶景を堪能できる。イベントは、博多灣の環境保護と観光振興を目的として実施されている。参加費は無料であり、誰でも参加できる。

政治専攻生 懇親會

政治専攻生懇親會は、政治専攻の学生たちが交流を深めるためのイベントである。この懇親會では、学生たちが自由に話し合い、意見交換ができる。また、先輩学生からのアドバイスも受け取ることができる。懇親會は、学生たちの大学生活を豊かにするための重要な機会である。

三角帆に風を切る 學内ヨットレース大會

學内ヨットレース大會は、九州帝國大學で行われるヨット競技の大会である。この大会では、学生たちが三角帆のヨットで競速を競う。大会は、学生たちの技術向上とチームワークの強化を目的として実施されている。大会は、毎年恒例のイベントとなっている。

能古島學寮 島の便り

能古島學寮の島の便りは、能古島學寮の学生たちが島の生活を送る様子を紹介している。記事には、島の自然環境、学生たちの生活、島の文化などが詳しく紹介されている。能古島學寮は、学生たちが自然と親しみ、学びの場を提供している。

夏期プランを控へて 能古島學寮

能古島學寮の夏期プランを控へては、能古島學寮の学生たちが夏期プランについて話している。記事には、夏期プランの概要、参加方法、費用などが詳しく紹介されている。能古島學寮は、学生たちが夏期プランを通じて、島の魅力を体験できるように努めている。

想ひ出をさく 回顧

小川政修

想ひ出をさくは、小川政修の回顧文章である。文章には、小川政修の過去の経験、思い出、人生の感慨などが詳しく記述されている。文章は、読者に深い感動を与える内容となっている。

物凄く人氣の 本學管絃樂部と聲樂部

本學管絃樂部と聲樂部は、本學で最も人氣のある音楽部である。この音楽部では、学生たちが管楽器、弦楽器、声楽などで演奏を行う。音楽部は、学生たちの音楽愛好を促進し、音楽の魅力を伝えることを目的としている。

北海道的の旅

北海道的の旅は、北海道を巡る旅の記録である。記事には、北海道の美しい風景、文化、食文化などが詳しく紹介されている。旅は、北海道の魅力を体験するための貴重な機会となっている。

本學管絃樂部と聲樂部 第四十四回定期演奏會

本學管絃樂部と聲樂部の第四十四回定期演奏會は、本學で最も期待されている音楽イベントである。この演奏會では、学生たちが管楽器、弦楽器、声楽などで演奏を行う。演奏會は、学生たちの音楽技術の向上とチームワークの強化を目的としている。

政治専攻生 懇親會

政治専攻生懇親會は、政治専攻の学生たちが交流を深めるためのイベントである。この懇親會では、学生たちが自由に話し合い、意見交換ができる。また、先輩学生からのアドバイスも受け取ることができる。懇親會は、学生たちの大学生活を豊かにするための重要な機会である。

三角帆に風を切る 學内ヨットレース大會

學内ヨットレース大會は、九州帝國大學で行われるヨット競技の大会である。この大会では、学生たちが三角帆のヨットで競速を競う。大会は、学生たちの技術向上とチームワークの強化を目的として実施されている。大会は、毎年恒例のイベントとなっている。

能古島學寮 島の便り

能古島學寮の島の便りは、能古島學寮の学生たちが島の生活を送る様子を紹介している。記事には、島の自然環境、学生たちの生活、島の文化などが詳しく紹介されている。能古島學寮は、学生たちが自然と親しみ、学びの場を提供している。

夏期プランを控へて 能古島學寮

能古島學寮の夏期プランを控へては、能古島學寮の学生たちが夏期プランについて話している。記事には、夏期プランの概要、参加方法、費用などが詳しく紹介されている。能古島學寮は、学生たちが夏期プランを通じて、島の魅力を体験できるように努めている。

角帽

法文部共済部御指定
許斐帽子店 福岡市橋口町角(Tel.1118大)

カメラと小型活動専門店

(95ミリ・8ミリ・16ミリ・35ミリ)
テラタ商會九州支店
博多川端電停前(電879)
中古交換並一高價購入

本學大勝

北九州大學
高専水泳
松本氏追悼野球
九大 九六・四長崎一
九大 九六・四長崎一

能古島學寮

島の便り
能古島學寮の島の便りは、能古島學寮の学生たちが島の生活を送る様子を紹介している。記事には、島の自然環境、学生たちの生活、島の文化などが詳しく紹介されている。能古島學寮は、学生たちが自然と親しみ、学びの場を提供している。

夏期プランを控へて

能古島學寮
能古島學寮の夏期プランを控へては、能古島學寮の学生たちが夏期プランについて話している。記事には、夏期プランの概要、参加方法、費用などが詳しく紹介されている。能古島學寮は、学生たちが夏期プランを通じて、島の魅力を体験できるように努めている。

三角帆に風を切る

學内ヨットレース大會
學内ヨットレース大會は、九州帝國大學で行われるヨット競技の大会である。この大会では、学生たちが三角帆のヨットで競速を競う。大会は、学生たちの技術向上とチームワークの強化を目的として実施されている。大会は、毎年恒例のイベントとなっている。

森寫眞館

九大御用
福岡市上東町(電3393)
御就職寫眞三枚一組一圓二十銭以上

角帽

法文部共済部御指定
許斐帽子店 福岡市橋口町角(Tel.1118大)

本學大勝

北九州大學
高専水泳
松本氏追悼野球
九大 九六・四長崎一
九大 九六・四長崎一

能古島學寮

島の便り
能古島學寮の島の便りは、能古島學寮の学生たちが島の生活を送る様子を紹介している。記事には、島の自然環境、学生たちの生活、島の文化などが詳しく紹介されている。能古島學寮は、学生たちが自然と親しみ、学びの場を提供している。

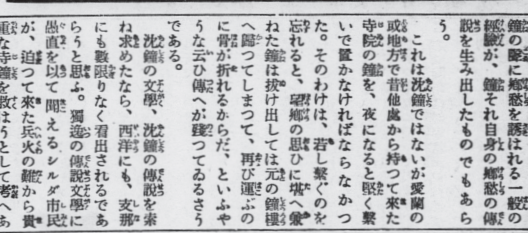
夏期プランを控へて

能古島學寮
能古島學寮の夏期プランを控へては、能古島學寮の学生たちが夏期プランについて話している。記事には、夏期プランの概要、参加方法、費用などが詳しく紹介されている。能古島學寮は、学生たちが夏期プランを通じて、島の魅力を体験できるように努めている。

三角帆に風を切る

學内ヨットレース大會
學内ヨットレース大會は、九州帝國大學で行われるヨット競技の大会である。この大会では、学生たちが三角帆のヨットで競速を競う。大会は、学生たちの技術向上とチームワークの強化を目的として実施されている。大会は、毎年恒例のイベントとなっている。

小牧健夫



ここに來ると山は變る山では
なくて、巖へる山である。叫いて
岩めて、隙かゝれる管理の窟がある。
この山の鼓へる哲理が人智と云ふ
山脈を五十年、六十載と長い
散歩人間生活にどの饒な交
渉を持つかを考へると觸る神白

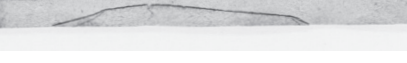
[illegible]

「行政主義者」に時々取上げられるインスタン・ルイスが、ニクスピアにネカの誤訳を認めてシニスピアは「思ひ出する」として否認して彼は「私にする」は自らに罪咎でセネネカと改めたのだ。たゞこれにせよ、彼はその目的のためにそれらを用ひたのである」と認めてゐるのを見ても分るのである。

紙數が過ぎるので繰返に註の二條を紹介するとこの研究資料に集められた識者は十篇、ニクスピアとネカ發見書「ハムレット」は「メン・ジョンソン説」「バヤスタ・アフロア説」等いろいろ家説となつてゐる。公にされたのは昭和（一九四）の十三年出版の『ニクスピア』主

メリー・ウ
MG社起作
名匠 エルン
ジャネット・マ
モーリス・シ
六月二十日封

イドゥ
日本版
ト・ルビツチ 監督
クドナルド 主演
リヴアリエ
友 楽 館



桃の口紅に、草薙麗が現
 れて、秘蔵に火酒を要求した
 が、麗も喝へるものが無かつた
 ので、怒り出した麗蔵は、寺院
 の塔から鐘を取り去つて附近の
 川に沈めた。今もその川に
 沈鐘を題名とするハウプトマ
 ン・大浩

女は朝飯の膳で
 流木の桶を北向の壁に
 移すことを提案する
 僕は
 昨夜懸た
 夏ものネクラタイを想ひ出す
 パンの肌がやわらかくなつた
 窓邊のカートンを閉ぢて
 象牙の箸をもてあそび
 冷青な光陽を貰ふで

初夏

幼子は

虚構の罪惡それが単純なものであるから、虚構的なもの、虚構であるから、人間的に應得するものと考へられる。
 人間的の罪惡あつては虚構は、自然を欺瞞するを以て罪、虚構の心を以てを賣た。又自然を我欺として賣る。人に欺かば彼つち自然として賣る。人によつて、自然を自然と見れば爲に賣する。と云ふ欺への賣たのは、罪であらう。而して虚構文化は、人間的の罪惡である。次に、人間も自然との欺立が有つて、その欺立の世に仕ひつた。自然は、自然と人間を貫いて其を二つを超越する境が働いてゐるもの、人間も此の罪惡（罪惡）の境にある。人間も自然と共に参入であるとする。

政治は王黨、宗教はカトリック、文壇上では古風主義を主張するT・S・エリオットに就いてはもう論議の必要はないであろう、たゞ詩人である

風景
リザ朝論集」

石井康一

ツッコミもあるほどの著名の文藝者、
経典的な形の批評の素を持てなかつただけのことである。『ハムレット』を収めてある「ハムレット論」だの「ベン・ジョンソン」だの云ふ論文はすでに――

演じるに――

[illegible]

院書たねか 本古

通車電町崎箱

ののへの合の

維持しては、最も大膽な嘗試である。掲載される「俗寫」は相當なものである。

『社會學徒』（定價二十錢）日本社會の社會學研究家より發行。社會學に關する學究より研究の點を發表する機關。月刊。一回の頁を出る。

『醫藥』（第一卷第六號）醫長二十錢。

『世界と我等』（定價一錢）本國の教育に對する。支那の大學教授にあるのと同路より毎號寄贈を受けることゝなつた。

『民衆』（第一卷第一號）北平大學醫部より發行。社會と醫學の關係を論ずる。編輯等をして、隨筆、創作等を載せてゐる。

『大學生活』（大學生活社、定價二十錢）直支直支の大學の事情を知るに便利。科學（定價四十錢）學界、書店發行。

『一般科學と社會の關係』の發行は、この月刊雜誌の

完 書 各 定 る し と、 な 授 森 日 社 誌 的 リ 質 誌 も
 優 九 大 生
 待 生
 現 寫
 像 眞
 引 材
 奥 村 他 料
 水 鋤
 た き 焼
 月光の下
 原作（額田六福）

川端町上ル角
電四九六番

角

箱崎電車通
電話七二九番

写真材料店

脚色監督 (山田英三)

に (サウンド版)

- 128 -

[illegible]

水のほとばしりを
はやくやぐ

僕は
ビルデントクの北側の狭道に
たどずんで口笛を吹く

並木の女
白樹の女

初夏の季節を想案する

石を投げ入れると、水底に鐘の響きが向かへて聞えるといふのである。

「鐘には娘はあごござる。初夜」
の鐘を撞ぐ時は諸行無常と暮くに
後夜。鐘を撞く時とは生老
病死と暮くなむ。……『夢人』
の心ここなり。鐘の暮かると暮くに
醒きたる際醒れぬ、そのまづき
詠したる傳記が少くない。常陸
の霞ヶ浦の三沖といふ、府中
は、嵐舟の夜渡しの處からいふ、
中懸しや夜分ふ」と悲しむ歌が
聞えるさうである。これら『夢人』
が府中縣分守の鐘を賣買つて
行く、それこそ投げ込んだから
う、それ以來鐘が府中を騒がせ

ンの戯曲では、詩體唱ハインリッ
ツヒが嵐舟の手紙に懸ける聲を
鐘で造して、山の上へ響かす
中に、事が覆つて鐘は、湖の
底深く沈んでしまつたことであ
り、謎の世界が隠かれて行くので
あるが、さてこの沈める鐘は、
何を象徴するのであらうか。
は因襲的な世間道楽と解釈せざ
れ、または失墜した作者の儂儂
の『フロリアン・ガイムル』

あるともいはれ、結局象徴があ
るでもない。然らずれば此語がある
しかし今はその考案をする餘地
もない。ただ考度深いのは、
夢の下に沈んだ鐘は何故再び
うり出されたかといふところである

してはたしに、單に「山に登る」と云ふ小節に繋つてしまふならば、登山には自然との融合等と云ふ雄大な陳腐ではなかつても、文藝的な謂はれば致しきもので云ふべきものがあるの點ではないかと思ふ。勿論山に登る戰に於て大衆の眼に飛び込ん、容態の世界には見られないが、精神秘かな世界に入るとするはなほ得意が、然し此等ではなかり登山にはつと密着的に私生活の實生活に、表現機を以て示せるものだからであらう。

儼々の巒は岷とあり、友人の雲より穿ち渡りあり、友人と云ふよりは先主、樂しむと云ふよりは勞役するものである。殊にこの意の差違にあるはさうだと思ふ。儼は曾て魯豫關から蜀を翻して上高地へ出た事があつた。その時は

儼は彩時山を愛しける人は人生を覺得る人であり思つた。
儼は身を背くひも結つた。
せぬ戦合の幽靜を翳へ、目的の目を捉まつたりしに、

朝の雨
花

筑紫路を

古墳

小雨潤れ、七枚の戦馬の跡を過ぎ、土器足跡に出掛ける古びた祠に懸たる土器の破片が稲穂に影たるのをノット手に小古笠著者其破片をわねくり翳す。

「著者の影だ」。梅目文蔵、建城なく梅目文蔵を見ろ。跡に於てる。それに於て千五百年前は驚かされた。歌聲の影の影は、戦馬に

迎る (二)

花田史郎

ンが形にまよふものも守れて
歌々と歩く。雨はやい晴れ
古風といふ。いかに石に響
て、無味な感情に交響され
た。横町電報の短い水な
の浪を流つて三割の眼は動く
経長いのは癖。此の上には確
に水鏡を置いてあらしし
指察だ。日はそつと石から下
る。

傍。傷。片。後。士。也。

車庫になつた華人連、焚火
中心に集つた。高を輕
て曲のやうな赤い煙を輕
ふ。懸る。黒い煙がにぎ
ら舞ふ。白。煙が見える。
壁の隅には黄鼠狼の巣であ
る。白。煙の海士人の食袋だ。三
の考へた小説となく

螢 狩

螢が舞いのか、月がまだ空
のなか、探ひ田舎道が闇に白

[illegible]

日陰に「官ふ。叔父さん、
おれでござうが、自轉車の
を一里送つて、自轉車の
田舎だな。景見たら、湖
落ちこむか。知れない。
車に乗しなさい。叔父さん
の車は最先進だ。」

これと云ひ、景には少し
それでも主の草に腰懸さ
ハンドルの草にと乗つて
た顔見て景を見る。

丸山公園

雲は薄い。一面に霞すんば
ばら月。松林の自轉車の影
九時。まだ早いな。まだ元
ある。一つ甘木まで。そこ
ろが、途中道路工事にぶ
る事二回。口と引きなら
獸々と甘木に着いた。十一
これも膨大。

この夜の暑い灯の外はほ
も曇むそうだから、自轉車を降
御方の悪い足下にて公議に
丸山公園。こんもり茂つ
丘に隠されたのもやが
かつて彼方へ眺め見させ

[illegible][illegible]

山縣 由利 近日公開



健次 主演
直代
辨天座

[illegible]